

SolidWorks 2012 SP0でToolbox を既にバージョンアップを行った場合の対応方法

SolidWorks 2012 SP0でToolbox を既にバージョンアップを行った場合、以下のリンク先から HotFix_627753.exe をダウンロードして適用しご対応いただく事ができます。

その場合、注意事項と適用手順をご一読いただきまして対応の程をお願い申し上げます。

・ [HotFix ダウンロード](#)

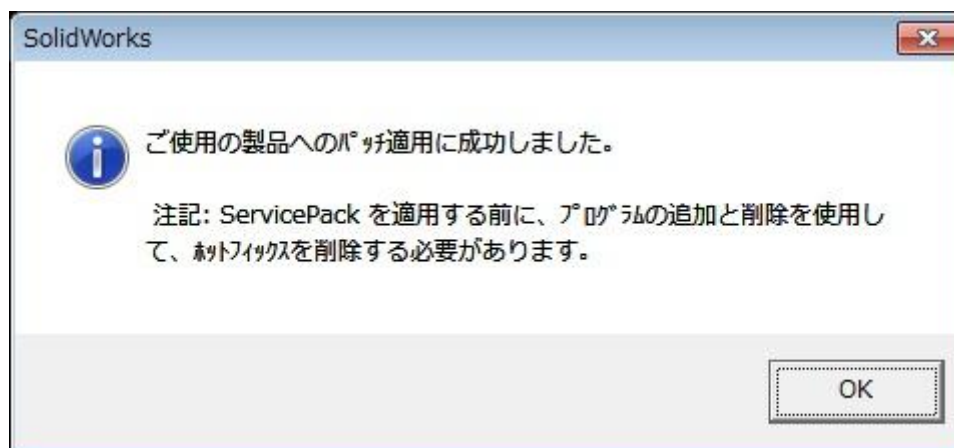
・ HotFix 適用の注意事項

- ・ HotFixの適用前に、“ツール>オプション>システムオプション>穴ウィザード/Toolbox”で指定されている Toolboxフォルダのバックアップをしてください。
- ・ Toolbox を複数のユーザー間で共有している場合は、1 台の PC で HotFix を適用していただければ共有データが更新されますので、全ての PC にて行う必要はありません。
- ・ この HotFix の適用により、Toolbox は旧バージョンデータから現象 1 と現象 2 の問題が改善された状態でバージョンアップしたデータとして再作成されます。

その為、SolidWorks 2012 SP0 で Toolbox をバージョンアップしてからこの HotFix を適用するまでの間に、追加、変更された箇所は反映されませんのでご注意ください。

・ HotFix 適用手順

- 1.保存した EXE ファイルをダブルクリックで実行。
- 2.コマンドプロンプトが表れ"Installing Hotfix. Please do NOT close this window."と表示されます。
このウインドウを途中で閉じるとHotFixの適用が完了されない為、手動でウインドウを閉じないでください。
- 3.以下のメッセージが表示されると完了です。



※次回サービスパックアップデート時に HotFix_627753 を事前に削除する必要があることにご注意ください。

(HotFix_627753 の削除は、Windows コントロールパネルの「プログラムと機能(XP: プログラムの追加と削除)」よりおこなうことができます。)